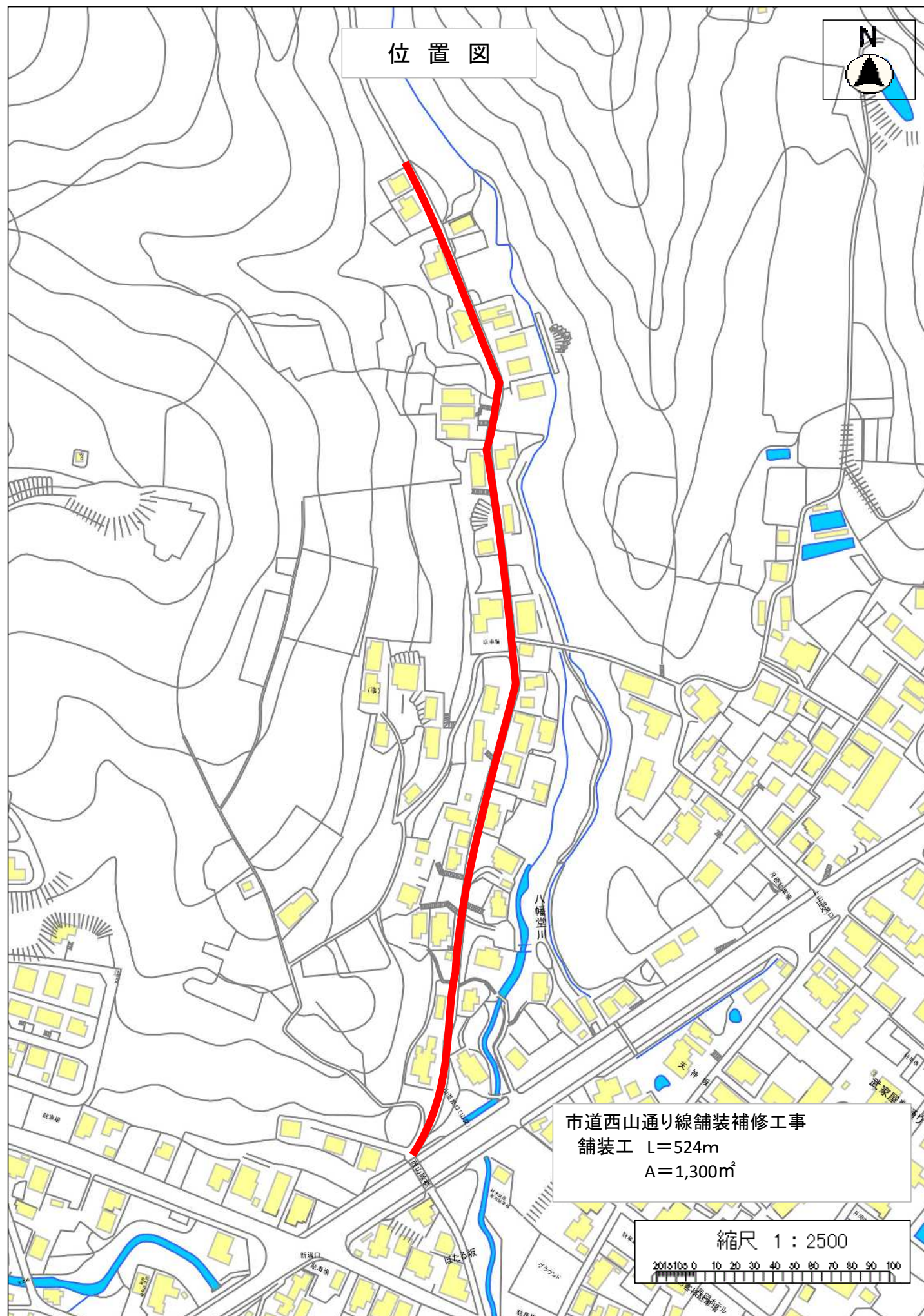
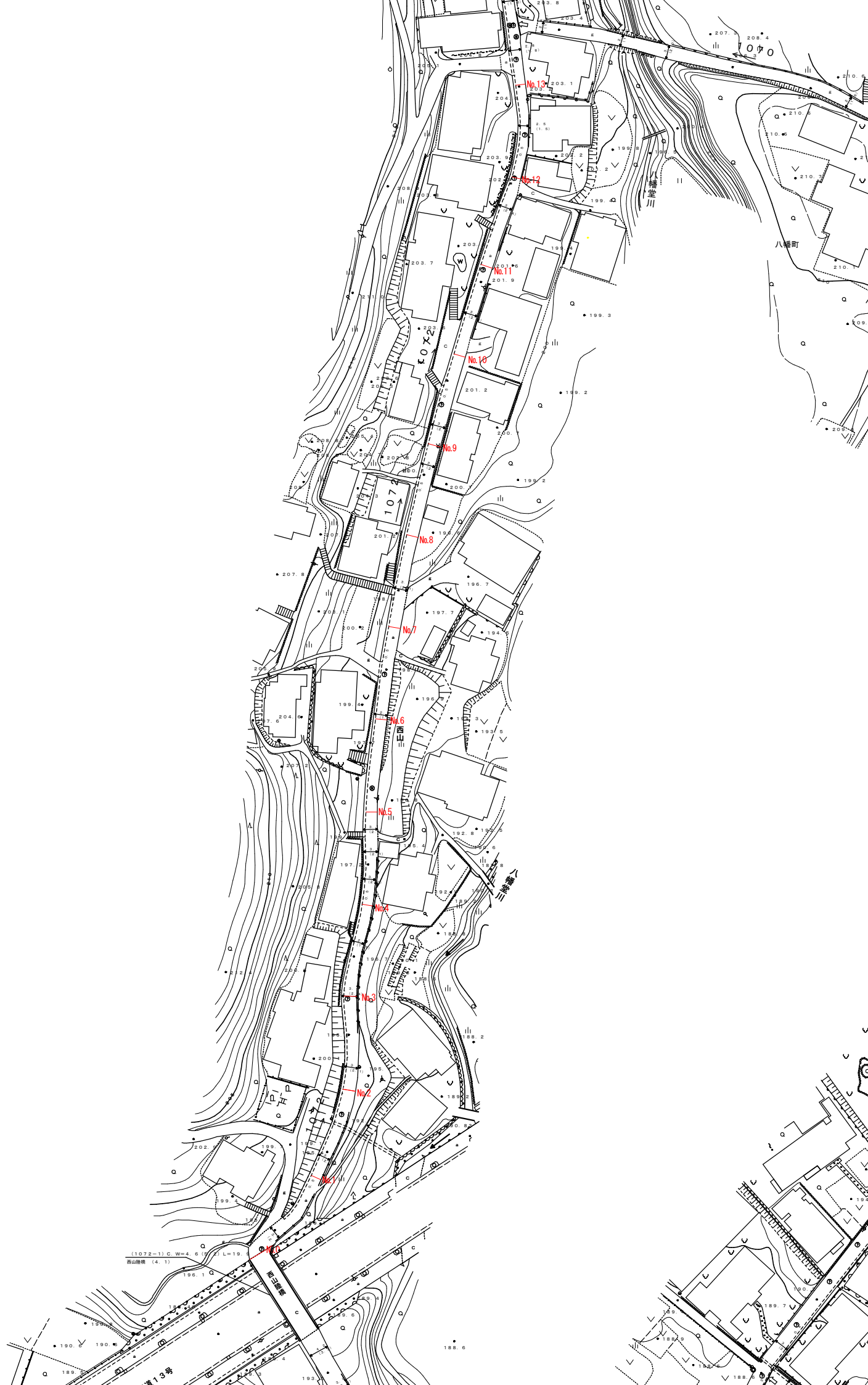


位置図







上段:当初 下段:變更

上段:当初 下段:變更

数量計算書

○舗装工

測点 (起点側)	起点からの 延長(m)	幅員 (m)	測点 (終点側)	延長 (m)	平均幅員 (m)	面積 (m2)
No.0	0.0	5.8	No.1	20.0	4.05	81.0
No.1	20.0	2.3	No.2	20.0	2.50	50.0
No.2	40.0	2.7	No.3	20.0	2.75	55.0
No.3	60.0	2.8	No.4	20.0	2.55	51.0
No.4	80.0	2.3	No.5	20.0	2.40	48.0
No.5	100.0	2.5	No.6	20.0	2.50	50.0
No.6	120.0	2.5	No.7	20.0	2.55	51.0
No.7	140.0	2.6	No.8	20.0	2.55	51.0
No.8	160.0	2.5	No.9	20.0	2.55	51.0
No.9	180.0	2.6	No.10	20.0	2.60	52.0
No.10	200.0	2.6	No.11	20.0	2.60	52.0
No.11	220.0	2.6	No.12	20.0	2.30	46.0
No.12	240.0	2.0	No.13	20.0	2.05	41.0
No.13	260.0	2.1	No.14	20.0	2.10	42.0
No.14	280.0	2.1	No.15	20.0	2.25	45.0
No.15	300.0	2.4	No.16	20.0	2.30	46.0
No.16	320.0	2.2	No.17	20.0	2.25	45.0
No.17	340.0	2.3	No.18	20.0	2.45	49.0
No.18	360.0	2.6	No.19	20.0	2.50	50.0
No.19	380.0	2.4	No.20	20.0	2.55	51.0
No.20	400.0	2.7	No.21	20.0	2.65	53.0
No.21	420.0	2.6	No.22	20.0	2.50	50.0
No.22	440.0	2.4	No.23	20.0	2.30	46.0
No.23	460.0	2.2	No.24	20.0	2.30	46.0
No.24	480.0	2.4	No.25	20.0	2.30	46.0
No.25	500.0	2.2	No.26	20.0	2.20	44.0
No.26	520.0	2.2	No.26+3.8m	3.8	2.20	8.4
No.26+3.8m	523.8	2.2				
合計				523.8		1300.4
平均		2.5				

○舗装版破碎

1300.4 = 1300.4 m²

※上水工事対応分

○舗装殻

1300.4 × 0.05 = 65.018 m3

※上水工事対応分

○舗装版切断

起点 5.8 終点 2.2

計 8.0 m

交通誘導員数の算出

工 種	種 別	細 別	単位	施 工 量 (a)	標準作業量 (b)	作業日数 N (N=a÷b)	備 考
舗装版撤去工							
	舗装版切断工	15cm以下	m	8	203	0.0	
	舗装版破碎工	騒音対策必要、15cm以下	m ²	1,300	260	5.0	舗装版破碎
		騒音対策必要、15cm以下	m ²	1,300	470	2.8	掘削・積込作業
	殻運搬	DID無 10km以下	m3	65	25	2.6	
舗装工							
	表層工	1.4m以上3m以下 70mm	m ²	1,300	1,300	1.0	
	不陸整正		m ²	1,300	1,400	0.9	
合計 (①)						12.3	

実作業日数(①)	日当たり配置数(②)	交通誘導員数(①×②)
12.3 日	2 人	24 人

特 記 仕 様 書

令和8年度
市道西山町通り線舗装補修工事

特 記 仕 様 書

上山市 建設課

特記仕様書

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和8年4月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和8年4月一部改定された内容は以下のホームページに掲載されているので、令和8年4月9日までの改定内容についても適用するものとする。

※ 共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

山形県のホームページ（ <https://www.pref.yamagata.jp> ）

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書（土木工事）

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総 則

【入札・契約】

1-1 請負代金額内訳書

1. 本工事は、共通仕様書 第1編共通編 第1章総則 1-1-5 第1項に規定する請負代金額内訳書の提出対象工事とする。
2. 請負代金内訳書は、工事の変更契約を行った場合も提出するものとする。ただし、変更内容が工期や数量のわずかな増減等の軽微な変更で請負代金額内訳が大きく変わらない場合は、提出を省略できるものとする。

1-2 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1,000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書（様式第10号の3）により監督職員に提出しなければならない。

1-3 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書（様式第10号の2）に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書（様式第10号の3）の写しを添えて提出するものとする。

1-4 舗装技術者の配置

本工事は、共通特記仕様書 第1編共通編 第1章総則 1-1-7 舗装技術者の配置の適用対象工事である。

【建設工事円滑化推進会議等】

1-5 設計変更の手続

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集 山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

1-6 ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。

2) 休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。

- 3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。
3. ワンデーレスポンスの再徹底
 - 1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。
4. 留意事項
 - 1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。
 - 2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

【施工方法等】

1-7 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材、アスファルト・コンクリート塊）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【アスファルト・コンクリート塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設（アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可）

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。

【アスファルト塊】

- ① 受け入れ場所 : 積算書に記載
- ② 再資源化施設名 : 積算書に記載

3. 落札者は、契約締結前、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等に変更する場合は、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-11建設副産物第2項で規定する契約前の説明において変更内容の説明を行うものとする。

なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。

また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

4. 受注者は、契約締結後、自らの都合により、建設工事請負契約約款様式第1号の2（解体工事に要する費用等調書）への記載内容と別の方法等に変更する場合には、あらかじめ監督職員へ工事打合簿等で説明を行い承諾を得るものとする。

その後、変更契約を締結する場合には、建設工事請負契約約款様式第8号の2（解体工事に要する費用等調書）へも変更内容を記載しなければならない。

なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。

また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

5. 土木共通特記仕様書第1編共通編1-1-11建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）作成は、「コブリス・プラス」（（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）Web版入力システム）に

より行う。

なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分（技術管理費）に含まれている。

6. 受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画ならびに再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

【施工管理・検査】

1-8 工事完成図書の電子納品

1. 変更に要する数量計算書及び図面等、また、完成時の完成写真及び工事中写真は、請負者が作成し監督職員に提出すること。数量計算については、表計算ソフトデータを提出し、図面については電子データ（SFC形式とPDF形式）で、写真類については電子データ（PDF形式）提出すること。
2. 本特記仕様書・設計書に疑義が生じた場合には、監督職員と協議し、その指示に従うものとする。

【安全確保関係】

1-9 工事名標示板に関する事項（安全確保関係）

1. 工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。

工 事 の 種 類	舗装補修工事
工事内容の説明	傷んだ舗装を直しています

2. 本工事は道路工事であることから、工事名標示板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

1-10 交通安全に関する事項（交通安全管理関係）

1. 交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。

なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

2. 歩行者用の仮歩道が必要となった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
3. 車両乗入部等工事の際に覆工（鉄板を含む）等が必要な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
4. 施工にともない段差すりつけが必要になった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

1-11 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

（１）緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、

監督職員の指示により巡回を行うものである。

- (2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を構ずるとともにその状況について監督職員に報告するものとする。
 - (3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
 - (4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。
2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業
工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立しなければならない。
 3. 緊急巡回及び緊急時の協力体制に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1-12 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第一報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（共通仕様書（参考資料）参考様式5）をFAX、又はE-Mailにより提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ (<https://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書（土木工事）

1-13 週休2日確保工事

1. 本工事は4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては「上山市週休2日確保工事実施要領」に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 受注者は、工事打合簿等において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、週休2日を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。
3. 受注者は、週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することはできないが、工期の延長変更の理由が受注者の責めにやらない場合は、上山市建設工事請負契約約款第22条の規定により、工期の延長変更を請求するものとする。
4. 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。
5. 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に

特記仕様書

届出するものとする。

6. 受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。
7. 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日対象期間、現場開所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿等で実施状況を協議すること。協議にあたっては、次の各号に掲げる書類を提示しなければならない。
 - (1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料
 - (2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等(休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。)の書類
8. 発注者は、当初(発注時)において4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が4週8休に満たない場合は、4週8休以上の経費の補正を除いて、工事費を算定するものとする。
9. 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。

第2編 材 料 編

第1章 土木工事材料

1-1 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。なお、下記の材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

材 料 名	規 格	使用箇所	摘 要
再生アスファルト合材	再生密粒度As混合物（13F）	表層工	

1. 本工事における不陸整正は、設計内訳書で指定する材料により、アスファルト舗装等の施工に適した路盤となるように仕上げるものとする。設計内訳書で指定する材料と異なる材料を使用する場合は、監督員の承諾を得るものとする。
2. 施工に際しては、上記路盤となるよう施工管理を行い、施工状況写真及び施工完了写真を監督員へ提出するものとする。
3. 設計内訳書における不陸整正の規格欄に記載されている厚さについては、積算のための考え方を示すものであり、指定事項ではない。
4. 上記材料が使用できない場合においては、使用する材料について監督職員と協議を行うものとする。

1-2 山形県リサイクル認定製品

土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-12リサイクル認定製品に規定する「山形県リサイクル認定製品」は、山形県の環境エネルギー部循環型社会推進課のホームページにより確認することができる。

<https://www.pref.yamagata.jp/kurashi/kankyo/recycle/recyclesystem/index.html>

課 長		リ ー ダ ー		検 算 者		設 計 者	
--------	--	------------------	--	-------------	--	-------------	--

工 種		舗装工事		工 事 番 号		設 計 年 月 日		令和 8 年 5 月 1 日	
工 事 箇 所		上山市 鶴脛町 地内							
路 線 ・ 河 川 名									
<p>令和 8 年度</p> <p>市道西山町通り線舗装補修工事</p> <p>上山市</p>									
工 期		令和 年 月 日				着 工 期 日		令和 年 月 日	
		令和 年 月 日				竣 工 期 限		令和 年 月 日	
請 負 金 額		円				請 負 人			

(0700000174-0)

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	舗装版撤去工				式	1			
		舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cm以下	m	8			
		舗装版破碎		アスファルト舗装版, 障害等なし	m ²	1,300			
		殻運搬		舗装版破碎, 機械積込(小規模土工)	m ³	65			
		アスファルト塊		(有)遠藤土建工業	m ³	65			
	舗装工				式	1			
		不陸整正		補足材料あり, 28mm以上34mm未満	m ²	1,300			
		表層(車道・路肩部)		3.0m超, 平均仕上り厚50mm	m ²	1,300			
	仮設工				式	1			
		交通誘導警備員B			人・日	24			

(0700000174-0)

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		雑工			式	1			
	直接工事費				式	1			
	共通仮設費				式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	純工事費				式	1			
	現場管理費				式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	工事原価				式	1			

(0700000174-0)

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	一般管理費等				式	1			
		一般管理費			式	1			
			対象額		式	1			
			率計算分		式	1			
		契約保証費			式	1			
	工事価格				式	1			
		消費税等相当額			式	1			
	本工事費				式	1			

(0700000174-0) 1 地区 1地区

第1号 SZD321 J02

舗装版切断 1m当たり単価表

アスファルト舗装版
15cm以下
[IV-3-③-1]

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]	超低騒音	供用日					
特殊作業員		人					月単位
土木一般世話役		人					月単位
普通作業員		人					月単位
ブレード (コンクリートカッタ)	径1 8 インチ (4 5 c m)	枚					
ガソリン	レギュラー スタンド	L					
積算単価		式	1				
合 計		m	1				
舗装版種別 アスファルト舗装版厚	A = 01 アスファルト舗装版 B = 01 15cm以下			豪雪割増E = 01 豪雪割増 工種条件と同じ 費用の内訳F = 01 全ての費用			

(0700000174-0) 1 地区 1地区

第2号 SZD311 J02		舗装版破碎 1m 2 当たり単価表					アスファルト舗装版 障害等なし [IV-3-②-2]	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
コンクリート圧砕装置 [大割機]		供用日						
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		日						
運転手 (特殊)		人					月単位	
普通作業員		人					月単位	
土木一般世話役		人					月単位	
軽油	1 . 2 号	L						
積算単価		式	1					
合 計		m 2	1					
舗装版種別 障害等の有無 騒音振動対策 舗装版厚	A = 01 アスファルト舗装版 B = 01 障害等なし C = 02 騒音振動対策必要 D = 01 15cm以下		積込作業の有無 豪雪割増費用の内訳	F = 01 積込作業あり G = 01 豪雪割増 工種条件と同じ H = 01 全ての費用				

第3号 SZA961 J01

殻運搬 1m 3 当たり単価表

舗装版破碎
機械積込(小規模土工)
〔Ⅱ-2-25-1〕

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日					
運転手 (一般)		人					月単位
軽油	1. 2 号	L					
積算単価		式	1				
合 計		m 3	1				
殻発生作業 積込工法区分 DID区間の有無	A = 03 舗装版破碎 B = 04 機械積込(小規模土工) C = 01 DID区間なし			運搬距離D = 22 9.0km以下 豪雪割増E = 01 豪雪割増 工種条件と同じ 費用の内訳F = 01 全ての費用			

(0700000174-0) 1 地区 1地区

第4号の1 SZD001 J03

不陸整正 1m 2 当たり単価表

補足材料あり
28mm以上34mm未満
[IV-1-①-2]

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
モータグレーダ [土工用]	排ガス 2 0 1 4	供用日					
ロードローラ [マカダム] 賃料		日					
タイヤローラ賃料		日					
運転手 (特殊)		人					月単位
普通作業員		人					月単位
特殊作業員		人					月単位
土木一般世話役		人					月単位
粒度調整碎石	M- 4 0	m 3					
軽油	1 . 2 号	L					
積算単価		式	1				

(0700000174-0) 1 地区 1地区

第4号の2 SZD001 J03

不陸整正 1m 2 当たり単価表

補足材料あり
28mm以上34mm未満
[IV-1-①-2]

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
合 計		m 2	1				
補足材料の有無 補足材料平均厚さ 補足材料(選択省略)	A = 02 補足材料あり B = 06 28mm以上34mm未満 C = 01 *			補足材料D = 10 粒度調整碎石 M-40 豪雪割増E = 01 豪雪割増 工種条件と同じ 費用の内訳F = 01 全ての費用			

(0700000174-0) 1 地区 1地区

第5号の1 SZD023C J01								表層（車道・路肩部） 1m 2 当たり単価表		3.0m超 平均仕上り厚50mm [IV-1-②-2]	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料				日							
タイヤローラ賃料				日							
ロードローラ [マカダム] 賃料				日							
普通作業員				人					月単位		
運転手（特殊）				人					月単位		
特殊作業員				人					月単位		
土木一般世話役				人					月単位		
再生アスファルト混合物		密粒度アスコン（1 3 F）		t							
アスファルト乳剤		PK-3 プライムコート用		L							
軽油		1. 2号		L							

上山市

(0700000174-0) 1 地区 1地区

第5号の2 SZD023C J01

表層（車道・路肩部） 1m 2 当たり単価表

3.0m超
平均仕上り厚50mm
[IV-1-②-2]

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
積算単価		式	1				
合 計		m 2	1				
1層当り平均幅員 標準締固め後密度 瀝青材料種類 材料	A = 04 3.0m超 B = 50 C = 01 2.35t/m3 D = 02 フライムコート E = 19 再生 密粒度（1 3 F）			瀝青材料種類F = 02 アスファルト混合物小型車割増G = 01 アスファルト混合物夜間割増H = 01 豪雪割増I = 01 豪雪割増 工種条件と同じ 費用の内訳J = 01 全ての費用	プライムコート PK-3 小型車割増なし 夜間割増なし		

第6号 SA063 J01

交通誘導警備員 B 1人・日当たり単価表

[Ⅱ-5-21-1]

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
交通誘導警備員 B		人					月単位
諸雑費		式					
合 計		人・日	1				
交通誘導警備員区分 A = 02 交通誘導警備員 B							

第7号 B000000000001 A01

雑工 1式当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					月単位
合 計		式	1				

(0700000174-0)

労務費一覧表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					月単位
普通作業員		人					月単位
運転手（特殊）		人					月単位
運転手（一般）		人					月単位
土木一般世話役		人					月単位
交通誘導警備員B		人					月単位
合 計							

(0700000174-0)

資材集計一覧表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
アスファルト塊	(有)遠藤土建工業	m 3	65				
再生アスファルト混合物	密粒度アスコン（１３Ｆ）	t	163				
粒度調整碎石	M－４０	m 3	51				
アスファルト乳剤	P K－３ プライムコート用	L	1,636				
軽油	１．２号	L	776				
ガソリン	レギュラー スタンド	L	1				
合 計							

(0700000174-0)

損料費一覧表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日					
コンクリート圧砕装置 [大割機]		供用日					
合 計							

積 算 情 報 表

(0700000174-0)

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	(週休2日) 共通仮設費	1.01
変更回数	当初	(週休2日) 現場管理費	1.02
積算基準パターン	41:令和7年度国交省諸経費改定(消費税10%)	(週休2日) 機械経費係数	-
施行主体名	上山市	(週休2日) 労務単価係数	1.02
設計書名(1行目)	市道西山町通り線舗装補修工事	(週休2日) 交替制工事	なし
設計書名(2行目)		(週休2日) 市場単価係数	適用する
設計書名(3行目)		一般管理費補正率	0%
工事箇所	上山市 鶴脛町 地内	契約保証費区分	計算区分3
路線・河川名		契約保証費率	金銭的保証
工事番号		夜間補正区分	補正なし
設計年度	令和08年度	夜間補正率	0%
設計年月日	令和08年05月01日	冬期間補正区分	補正なし
単価適用日付	令和08年04月01日 (71)	冬期間補正率	0%
単価適用地区	01 1地区	昼夜間補正区分	補正なし
適用率	07 舗装工事	昼夜間補正率	0%
前払金支出割合区分	35%を超える	着工年月日	令和 年 月 日
共通仮設費補正	一般交通影響あり(2)	竣工期限	令和 年 月 日
現場環境改善費	計上しない	工期開始	令和 年 月 日
現場環境改善費地域		工期終了	令和 年 月 日
現場管理地域補正	一般交通影響あり(2)	工期日数	0日
現場管理費率の補正(施工時期)	なし	工種名	舗装工事
週休2日の補正	1:月単位の週休2日	請負人	